

「WEBで土木情報発信」学ぶ

土木学会関西・FCCサロン

土木学会関西支部（小河保之支部長）の第23回FCCサロン「誰にでもできる情報発信を学ぼう—今こそ必要なWEBによる土木分野の情報発信」が18日、大阪市内で開かれた。

NPO法人コミュニティ

リンク代表理事の細谷崇氏を講師に、ホームページやブログによる情報発信の違いや方法などを学び、土木業界が情報発信を効果的に実践するための参考にした。

細谷氏は、情報発信の種



細谷氏

類としてHP（ホームページ）、ブログ、SNSの利用事例や利点と欠点、それぞれの特徴などを解説。公式な発表、会社概要などを盛り込んだHPに、日々の活動内容や現場の状況などを取り入れるブログを組み合わせた情報発信が、現在の主流に

なっている—などと説明した。

特に、デザイン・レイアウトの自由度が高い利点を持つHPと、更新が簡単なブログを組み合わせた「Movable Type」の情報発信を行っている劇団四季、ベネトンジャパン、ソニー損保の事例を挙げ、双方向のコミュニケーションツールとして利用している実態や作業の効率性を指摘した。

また「情報発信にもPDCAサイクルが必須だ」とした上で、内部の更新体制やプロモーションの方法、アクセス解析データの検証のほか、サーチにかかりやすくするSEO対策について述べ、あくまで「育てていく情報発信」について強調。HPで情報発信するための便利なツールとしてYahoo! JAPAN関連検索ワードサーチなど2点を紹介した。